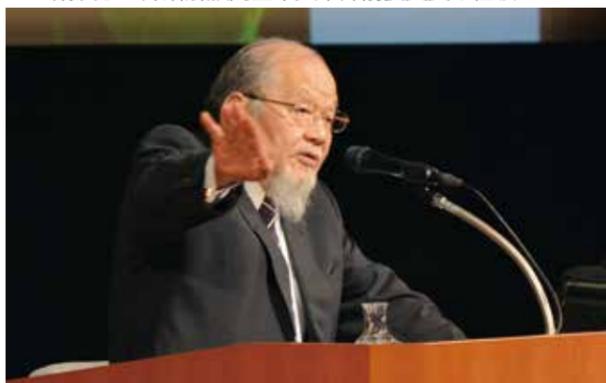


講演した部落解放同盟中央本部前委員長の組坂さん



人権なくして世界の平和はない 組坂さんを招き人権・同和教育夏期講座

市と市教育委員会は7月1日、市民文化会館で人権・同和教育夏期講座を開催しました。講師は、部落解放同盟中央本部前委員長の組坂繁之さん。組坂さんは、「封建制度の中で人間が生み出した身分差別によって、多くの人間が苦しめられてきた」と差別の理不尽さを説きました。また、混沌とする現代の世界情勢に触れ、平和と人権は密接な関係であることを強調。最後に「差別がない美しい宇宙船地球号を次の世代に残していくのが私たちの使命」と聴衆に強く訴えました。

「あーんしてごらん」虫歯はないかな



歯を大切にして虫歯ゼロに 柳川山門歯科医師会「歯の健康フェア」

6月10日、白鳥の歯科保健センターで柳川山門歯科医師会（松本陽一会長）の「歯の健康フェア」が4年ぶりにありました。歯と口の健康週間に併せて開催されたフェアでは歯科健診や歯磨き指導、フッ素塗布、口の中のがん検診などが行われ、子どもからお年寄りまで口や歯の健康状態のチェックを受けました。2人の子どもと一緒に訪れた杉本佳寿美さんは「日頃の歯磨きを褒めてもらいました。これからもしっかりと歯磨きをして、虫歯ゼロを続けたいですね」と話してくれました。

来場者は燈明の明かりの中でゆったりと過ごした



燈明の明かりで平和へ祈りを 眞勝寺で燈明の夜 in 柳川

眞勝寺で6月17日、燈明の夜 in 柳川が行われました。「でんきを消して、スローな夜を」を合言葉に、例年夏至の日と冬至の日に、燈明の明かりを眺めながら震災や災害、平和など思い思いに祈りの時間を過ごす同イベント。当日は、午後6時から眞勝寺の境内に設置された燈明に火がともされる中、篠笛奏者の片野聡さんによる篠笛ライブも開催されました。市内から参加した人は「燈明のほのかな明かりと篠笛の深みがある響きが合わり、とても幻想的な空間だった」と感動していました。

スイートコーンを求めて多くの人が訪れた



甘いトウモロコシが採れたよ 干拓育ちのスイートコーン収穫体験会

柳川むつごろうランドで6月23日と24日、柳川むつごろう会主催のスイートコーン収穫体験や販売会がありました。干拓地で育つスイートコーンは、塩分を含んだ土壌で有明海の潮風を浴びているため、糖度が高いのが特徴です。収穫体験には家族連れなど多くの人が訪れ、収穫したトウモロコシは1本200円で販売。4000本が完売しました。市内から訪れた親子は「収穫体験は初めて。これからおばあちゃんの家に行って食べるのが楽しみ」と話してくれました。



【上】杵を乗せた簀の上に海苔を均等に広げる日米の学生
【下】杵を外した後に圧縮して脱水。乾燥すれば板海苔に



まちかどレポート

身近な話題などお知らせください。情報をお待ちしています。
【問】企画課広報広聴係 ☎77・8425

食を通じて国際交流深める 漁連と高橋商店の協力で海苔をPR

7月8日、日米の学生12人が市内の高橋商店を訪れ、板海苔やゆず胡椒づくりを体験しました。これは日米の学生に共同で県内の農林水産物を使ってレシピ開発をもらい、国際交流を深めようと県が企画した事業の一環です。一行は、海苔の養殖や加工方法を動画で学んだ後、板海苔づくりに挑戦。杵を乗せた簀の上に海苔を均等に広げるのに苦戦していました。学生たちが開発したレシピは、県の公式サイトで見ることができます。



背中にかかった水の冷たさに歓声をあげる児童たち



プールに児童の歓声響く 市内の小学校で水泳の授業始まる

6月に入り、市内の各小学校で水泳の授業が始まりました。6月22日にプール開きをしたニッ河小学校では、1年生35人と6年生28人が晴天のもと、元気に水しぶきを上げていました。児童たちはプールサイトで水をかけ合い、体を水の冷たさに慣らしてプールの中へ。水中では、6年生が1年生を背負って歩くなどしました。授業が終わり、6年生の彌永海斗君に感想を尋ねると、「水が冷たくて気持ちよかった」と次の水泳の授業が待ち遠しそうです。

身振り手振りを交えながら発表する中学生



いま私たちが訴えたいこと 市青少年育成市民会議「意見発表会」

6月11日、市民文化会館で市青少年育成市民会議の意見発表会が開催されました。「いま小中学生が訴えたいこと」をテーマに、市内の小学生と中学生6人ずつが発表。発表を聞いた女性は「しっかりと意見を持っていて感動した」と話してくれました。また、中学生になってから柳川に移住して感じたことを発表した川津菜さんが、7月22日に大川市で開催される筑後地区青少年弁論大会へ出場しました。

